

女性の女性による家庭のための庭造り

第41号

発行 (有)千代田園芸社 電話 0594-31-1423



千代田園芸社
の石倉です



**新しい年を迎えられて
如何お過ごしですか？
去年は明るい話題の少な
い1年だった気がします**

私が鈍感だったのか、こんなに不安な世界情勢を身近に感じたことは無かった気がします。それでも日常は淡々と過ぎていきます。暑い夏は「フーフー」言いながらも変わりなく過ごし、「随分値段が上がったな」と言いながら食事も欠かさず頂いて、又新しい1年がやってきました。せめて今年は酷い目にあっている人が減っていけばと祈るばかりです。「何もせんのかい」と突っ込みがはいりそうですが。

さて、少しお庭や樹木の剪定について、私の考えを(独断と偏見ですが)書いてみたいと思います。こんなことを考えて庭造りをしていることを知って頂けたらと思います。和風、洋風、自然風他どんな庭でも、本当の自然の中に家を建てるのであれば人工的に望む風景を造ることになります。どこかの自然の風景の一部を切り取ってそれらしく造る場合もありますし、まったく現代アートの様な庭もできます。いずれにしても、施主の居心地の良い空間をつくる事が目的です。空間をいかに演出できるかです。京都の竜安寺



石庭や銀閣寺の向月台などは
さに抽象絵画の世界です。変わる
事のない価値ある美しい空間があ
るだけです。庭だけでなく剪定も



探訪日本の庭から 銀閣寺 向月台

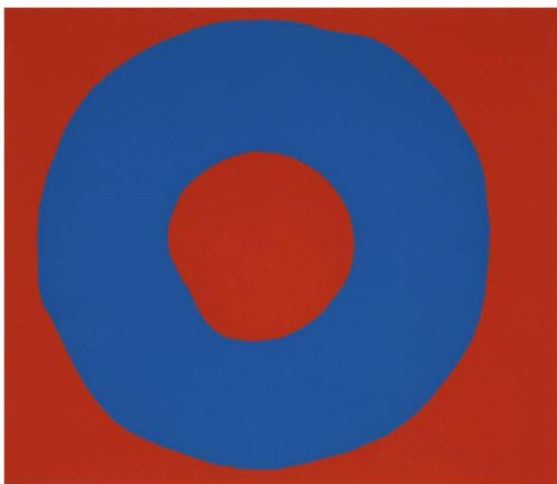
同じで、残す枝のバランス長さ、すべては美しい空間を造る技です。その極みが盆栽です。極限までいらないものを省いた空間の追求だと思います。空間を造るのなら 生け花等も同じですか。庭師と呼ばれる人よりも僧侶や茶人が今も残る名園と呼ばれる庭を造っています。絵画や書の腕前も一流なことが多いのです。現代の個人の庭だって、1坪の庭だって快適な空間を求めるのは同じです。無駄を省いた空間が美しいと思います。石組み、植栽、剪定の仕方等技術はもちろん必要ですが、それ以上に美しい空間を造る意識をいかに高めるかが重要だと思っています。「剪定を教えてください」と言われた場合、ハサミの扱いは教えられる。しかしどの枝を落として造っていくかは簡単に教えられるものではありません。今この文章を書いていて思いつきました。

**当社の社員に芸術鑑賞に補助金をつ
けよう。(スヌメの涙程ですが)**

お庭拝観料、美術館の入館料、舞台芸術等のチケット代。お茶、お花のお稽古の謝礼等の補助を今年から始めましょう。「いい庭を造りたければ絵を見たり、舞台を見たり、美味しいものを食べて、素敵な人と会話をするのがだいじだよ」と教えてくださった先生の言葉を何十年ぶりに思い出しました。お金の勘定ばかりしている場合ではないですね。「うちの庭には関係ない」とお思いですか？そうではないです。たとえ1本の木の剪定でも1本であるからこそ空間を造る大切な要素なのです。おろそかな扱いはできないと思います。

私(石倉睦子)の旅日記

今回は先ほどのお庭のお話に引き続き。すっかり若いころの感情がよみがえってきましたので、私が最も感動した絵画をご紹介をさせて頂いて、今回の旅日記の代わりとします。吉原治良の作品で、20代初めに大阪で観ました。震えるほど感動しました。今実物の前に立てたらどうでしょうか。すっかり鈍感になってしまったかもしれません。人生で泣けるほどの絵に出合ったのは2度程しかありません。今後チャンスはあるのでしょうか。



吉原 治良 の「円」

当社の会員様「4の特典」

昨年も秋に入ってから沢山の剪定のお問合せを頂きましたが、残念ながら年内剪定の御希望にはほとんどお応えできませんでした。

「去年まで来てくれた庭師さんが来られなくなった」話はよくお聞きします。予約は出来るだけ早く取ってください。

当社の場合は是非**会員登録**をお願いします。内容は以下のとおりです。

①決まった時期にこちらから剪定等の予定のお知らせをさせていただきます。お電話のし忘れ等がありません。

②会員様は**何度でも無料でお庭相談**を受けて頂けます。

③会員様のみが薬剤防除や人力除草を御利用いただけます。

④特別なお知らせを配布いたします。

脱会はいつでも自由ですのでご安心ください。

(登録料は1回のみで1000円です。)

造園業界も高齢化と人手不足が深刻になっております。きちんとした剪定ができる庭師さんは減る一方です。急に思い立ってもなかなか剪定や除草をしてくれる職人さんが見つからないことがあります。きれいなお庭を保つためにはぜひ登録をお勧めします。他社にお願いされている場合も「来年もお願いしたい」意向はお伝え頂いた方が良いでしょう。会員登録のお申込みはお電話 0594-31-1423 かメールでお願いします。

chiyoda@mie.email.ne.jp



左のQRコードからでもメールできます

アドレス chiyoda@mie.email.ne.jp